

令和6年度 胎内市男女共同参画推進委員会検討シート（まとめ）

第3次胎内市男女共同参画推進プラン2 1

実施計画の取組状況についてのご意見（令和5年度）

基本目標Ⅰ 人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり（P1～12）

P1～5 関係（LGBTQ）

10年後の中学校統合で、LGBTQを意識した制服にしてもらいたいです。
（現役中学生にアンケートを取るなどして、生徒の意見を反映させて欲しい）

→昨年の中条中学校の制服のLGBTQへの対応を契機に市内全中学校において対応済みです。

P1～5 関係（LGBTQ）

トイレを男子も全員個室にして欲しいという意見もあるようです。
（現役中学生にアンケートを取るなどして、生徒の意見を反映させて欲しい）

→男子トイレで個室に入って用を足すと、からかいやいじめの対象になってしまうとの心配から、個室トイレのニーズが少しずつ高まってきていることは認識しています。
ただし、その取組は一部の市町村等に限定されており、本県においてはほとんど皆無であると聞いています。
このような状況から、児童生徒や保護者のニーズや実態、加えて、他市町村の動向等を踏まえた対応を行っていきたいと考えています。

P1～5 関係（LGBTQ）

呼名の仕方を市で「〇〇さん」に統一して園や学校で共通理解を図ってもらおうとよいと思います。

→保育園・こども園の未満児に「〇〇さん」と呼名することが、幼児の発達に応じた適切な保育や指導と言えるのか、また、部活動の試合等の場面で、「〇〇さん」と言葉がけをしたり声援を送ったりすることが、本人を奮起させるのかなど、今後、保護者を巻き込んだ情報交換の場や話し合う場も設けていくことを通して、検討していきたいと考えています。

P4 実施・成果のデータ

パネル展の開催期間や場所、来場者はどのくらいだったのか。具体的に表記した方がよいと思う。

→記載が足りずに申し訳ございませんでした。

パネル展については、計3回行っております。

・1回目です。

場所：胎内市役所1階ロビー、期間：令和5年6月19日～6月23日。なお、来場者につきましては、玄関前に展示してある都合の為、把握はしておりません。ただし、正面玄関近くに展示をしておりますので、来庁者の目に留まりやすい適切な場所だと考えております。

・2回目です。

場所：胎内市産業文化会館（人権啓発・映画上映会「前科者」と同時開催）

期間：令和5年8月18日、来場者は320人です。

・3回目です。

場所：胎内市産業文化会館（人権啓発・映画上映会「破戒」と同時開催）

期間：令和5年8月22日、来場者は267人です。

P5 実施・成果のデータ

「ホームページにおいてLGBTQについての啓発を行った。」とあるが、啓発の内容をもう少し標記した方がよいと思う。

→記載が足りずに申し訳ございませんでした。

HP掲載日：令和5年12月1日、タイトル：さまざまな人権課題 - LGBTQ（性的マイノリティ）と題した記事です。

P5 検証

「様々な機会を・・・」とありますが、具体的にどういう機会を考えているか。

→記載が足りずに申し訳ございませんでした。市報やホームページ、パネル展を考えております。

P7 検証

「中1年生の職ナビゲーション」「アントレーナーシップ教育推進モデル事業」を男女共同参画の視点で表記するとわかりやすいと思う。

→ご意見を学校教育課に共有いたしました。同様のご指摘を令和3年度にも頂いておりますことから、改善するように申し上げました。また、「アントレーナーシップ教育推進モデル事業」につきましては、別紙資料をご覧ください。

P9、P10 実施・成果のデータ

・定期的に保護者向けに園だより等で情報を発信した。」とあるが、具体的にどの

ような内容か。もう少し具体的な表記をするとよいと思う。

- ・「保護者向けに園だより等で男女平等に対する情報を発信した。」とあるが、具体的にどのような情報を発信したか表記した方がよい。

→ご意見をこども支援課に共有いたしました。具体的な内容については、「子どもの権利条約」を基本として情報発信をしたとのこと。ただし、私も権利条約の冊子を確認しましたが、正直「男女共同参画」の視点の記載があまりないように感じました。つきましては、今年度が計画策定年でありますことから、今一度、担当者と連携を密にして「実施しなければならないこと」を確認していきたいと考えております。

基本目標Ⅱ あらゆる分野での男女共同参画の推進（P13～24）

P12 実施・成果のデータ、検証

男女共同参画に関する研修を実施ということなので、このページの内容では弱いのではないかと。

→ご意見を学校教育課に共有いたしました。男女共同参画関係についても、講演会や研修の情報提供を行っていきたいと思います。

P12 その他（小中学校の女性管理職について）

市内小中学校の女性管理職の割合が4/18（22%）と伺いました。もし分かるようでしたら新潟県内の平均値、全国の平均値、一番値が高い都道府県とその割合を教えてください。

※特支援＝特別支援学校

■新潟県 校長：小学校 17.7%、中学校：8.6%、高校：6.8%、特支：16.7%
教頭：小学校 21.9%、中学校：9.2%、高校：13.3%、特支：11.6%

■全国 校長：小学校 26.8%、中学校：11.0%、高校：10.4%、特支：31.7%
教頭：小学校 31.9%、中学校：19.1%、高校：15.5%、特支：36.0%

■一番値が高い都道府県

- ・小学校 校長：石川県 55.2% 教頭：広島県 51.5%
- ・中学校 校長：神奈川県 21.7% 教頭：石川県 39.8%
- ・高等学校 校長：神奈川県 18.5% 教頭：静岡県 27.2%
- ・特別支援学校 校長：徳島県 62.5% 教頭：福井県 83.3%

P16 事業名・内容、実施・成果のデータ、検証

女性農業者対象のセミナーや視察研修は、胎内市が企画・主催することがベストだが、県内で企画・実施されているセミナーや研修会に関する情報を女性農業者に伝える方法を確立してはどうか。「知っていれば行きたかった」という人もいると思われる。ラインなどを開設し、情報を随時発信するとよいのではないか。

→今後は、人権啓発係で行う講演会や研修会も含めて、農林水産課と連携し女性農業者等へも案内をしていきたいと思います。

P18 全体

「委員会の評価」欄にも記載されているが、この事業がなぜ男女共同参画につながるかが不明。また、小学生を民家に泊まってもらうには許可が必要になるのではないか。男女共同参画と関連が薄いような気がする。

→農業体験等を通じて実際に農業・農家に触れてもらう機会を与え、男女問わず将来に農業関係の職についてもらい、多くの意見が出るような状況を作っていく、最終的に男女共同参画を進めていくという主旨です。ただし、以前にも同様のご指摘を頂いております。今年度の計画策定段階で今一度、テーマや目標、事業に沿うような内容にできるように担当課と精査していきたいと思います。

P19 事業名・内容、実施・成果のデータ、検証

男女共同参画の重要性がうたわれ、家族経営協定の締結数が大幅に伸びていた時期を過ぎ、同協定締結数は全国的には微増、新潟県では減少（R4が1,348件→R5が1,309件。農水省ウェブサイト「とどうふけんべつかぞくけいえいきょうていけつすう都道府県別家族経営協定締結数」を参照）傾向にある。あらためてその重要性を認識する意味でも、実際に協定を結び、男女共同参画が実現した農業者を囲む勉強会などを行い、家庭、経営などの面でどういうメリットがあるのか、伝えることが有効ではないか。

→現在、胎内市の認定農業者会への加盟者が約300人おります。加盟者へ家族経営協定のメリット等の記載があるリーフレットを配布して周知している。ご意見を頂いたことを参考に勉強会等の実施をしたことによる協定増加数を考えながら政策を検討していきたいと考えている。また、指標目標も達成していることも踏まえて、施策や事業を精査していきたいと考えています。

P23、24 実施・成果のデータ（女性防災士、女性消防隊員）

現在活動されている方々の年齢層と定年の有無。

（昨今は大きな災害が多発しているので、将来的には胎内市でも避難所での支援が

必要とされる機会があると思われます。不足の事体に備えての訓練、取組に期待をします。)

・女性防災士の内訳

20代：なし、30代：1名、40代：1名、50代：3名、60代：3名、70代：5名 計13名

・女性消防隊員の内訳

20代：1名、30代：3名、40代：2名、50代：2名、60代：2名 計10名

基本目標Ⅲ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり（P25～43）

P43 実施・成果のデータ

実施・成果のデータ内容が、事業名にそぐわないのではないか。

→ご意見を商工観光課と共有いたしました。本来であれば検証覧に記載のある「職場環境や制度等の整備に利用できる補助金（育てる支援事業）」について実施・成果覧で記載をして、検証覧で達成度が4～5割になっている理由を記載するべきでありました。

申し訳ございません。達成度については、記載のある通り4～5割になっており、今後は具体的に利用例等を提示するなどして、企業側の受入態勢をサポートできるように努めたいと思っています。

基本目標Ⅳ 元気に安心して暮らせるまちづくり（P44～63）

P62、63 実施・成果のデータ

ひとり親家庭は、年々増加していると思う。その中で、対象者が一人や該当者なしということの要因は何か。

→対象者に案内はしているが、そもそもの希望者がいないのが現状です。